

# 第1回美馬市都市再生整備計画事業評価委員会

## 議 事 録

- 日 時 令和3年2月26日（金） 午後2時00分～  
○場 所 美馬市役所（北館）101・102会議室  
○委 員 6人（1人代理・1人欠席）  
○市出席者 加美副市長  
○事務局 大森課長、前田課長補佐、野崎技術主任

### 【1. 開会】

事務局 (大森課長)	<p>本日は、御多忙の折りに御出席を頂きまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の司会を務めさせていただきます、建設課長の大森です。よろしくお願いいたします。</p> <p>定刻となりましたので、ただ今から「第1回美馬市都市再生整備計画事業評価委員会」の会議を開会いたします。</p> <p>まず始めに、次第2といたしまして、美馬市副市長の加美より御挨拶を申し上げます。</p>
---------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 【2. 副市長あいさつ】

副市長 (加美副市長)	～～ 副市長あいさつ ～～
事務局 (大森課長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>申し訳ございませんが、加美副市長につきましては、この後、他の用務のため、ここで退席をさせていただきます。</p>

### 【3. 委員紹介】

司会 (大森課長)	<p>続きまして、次第3といたしまして、評価委員会の委員の皆様方の御紹介をさせていただきます。</p> <p>なお、敬称は省略させていただきますので、御了承ください。</p>
--------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

<p>近藤 明子 委員 (こんどう あきこ) 渡辺公次郎 委員 (わたなべ こうじろう) 蔭山 泰章 委員 (かげやま やすあき) 河野 圭佑 委員 (かわの けいすけ) 片岡 久議 委員 (かたおか ひさのり) 西前 清美 委員 (にしまえ きよみ) 園原 義正 委員 (そのはら よしまさ) 土井池弘次 委員 (どいけ こうじ)</p> <p>以上、8人の皆様であります。</p> <p>なお、皆様のお手元には、委嘱状を配布させていただいておりますので、御確認くださいようお願い申し上げます。</p> <p>ただ今御紹介いたしました委員のうち、「河野圭佑 委員」におかれましては、他の用務との都合により「上谷 敏也 様」が出席されております。</p> <p>また、「片岡久議 委員」におかれましては、居住地が東京であり、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が発出されている現状を踏まえ、本日の評価委員会への出席を見合わせる旨の御連絡を頂いておりますことを御報告いたします。</p> <p>続きまして、事務局の職員を紹介させていただきます。</p> <p>都市再生整備計画事業の担当課であります建設課の前田です。</p> <p>同じく野崎です。</p> <p>そして、建設課長の大森です。</p> <p>また、事後評価手続きに関する業務委託先であります株式会社フジタ建設コンサルタントの谷です。</p> <p>以上、この4人で事務局を担当させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>さて、本評価委員会は、美馬市都市再生整備計画事業評価委員会設置条例に基づき運営を行うこととしております。</p> <p>条例第6条第3項により「会議は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。」と規定されております。</p> <p>本日の出席委員は、委員総数8人に対しまして、6人の御出席を頂いており、委員の過半数に達しておりますので、本会議は成立していることを御報告いたします。</p> <p>また、条例第8条の規定により、本日の会議は公開とさせていただきます。</p> <p>なお、委員会の議事録につきましても、美馬市ホームページにて公開させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 【4. 委員長の選任】

<p>司会 (大森課長)</p>	<p>それでは、議事に入りたいと思いますが、議事進行につきましては、委員長が務めることとなっております。</p> <p>なお、委員長につきましては、条例第5条第1項において「委員会に委員長1人を置き、委員の互選によりこれを定める」と規定されております。</p> <p>また、同条第3項において「委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する」と規定されております。</p> <p>これらの規定に基づき「委員長」及び「職務代理者」について、御選出をお願いしたいと思います。</p> <p>そこで、御出席の委員の皆様にお諮りしたいのですが、委員長及び職務代理者の選出について、どのようにいたしましょうか。</p> <p>もし、よろしければ事務局の方で、(案)を用意しておりますので、提案させていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>～～ ※異議なし ～～</p> <p>「異議なし」とのことですので、事務局から提案させていただきます。</p> <p>本評価委員会の委員長につきましては近藤委員に、職務代理者につきましては渡辺委員をお願いしたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>～～ ※異議なし ～～</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>委員長につきましては近藤委員、職務代理者につきましては渡辺委員をお願いいたします。</p> <p>それでは、代表しまして近藤委員長より、一言、御挨拶をいただければと思いますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>～～ 委員長あいさつ ～～</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>なお、条例第6条第2項の規定により、今後の議事の進行につきましては、近藤委員長に会議の議長をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、近藤委員長、席の御移動をお願いいたします。</p>
----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【5. 議事】

近藤委員長	<p>それでは、議事次第に沿って議事を進めさせていただきますが、議事に入る前に事務局に確認しておきたいことがあります。</p> <p>それは、本日の会議時間についてです。</p> <p>事務局では、何時までを予定されていますか。</p>
事務局 (大森課長)	<p>本日の会議につきましては、委員の皆さま御案内させていただきましたとおり、概ね2時間を予定させていただいております。</p> <p>しかし、今回は第1回目の会議ということもありますので、議題の説明等に際しまして、若干、時間に猶予を頂く場合があるかと思いません。</p> <p>そうしたことを踏まえまして、遅くとも午後4時30分までには終了できればと考えております。御負担をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。</p>
近藤委員長	<p>それでは、遅くとも午後4時30分までには終了ということで、スムーズな議事の進行に御協力をお願いいたします。</p> <p>では、次第の「5. 議事」に入りたいと思います。</p> <p>議題1の「都市再生整備計画事業」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (前田課長補佐)	<p>～～ 事務局から説明 ～～</p>
近藤委員長	<p>評価委員会の目的、事後評価の流れ・設置の目的を説明して頂きました。何か御意見・御質問はありますか。</p> <p>御意見・御質問はないということでしょうか。</p> <p>～～ ※意見等なし ～～</p> <p>それでは、議題2の「脇町地区（第3期）都市再生整備計画事業」のうち、「(1) まちづくりの経緯」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (前田課長補佐)	<p>～～ 事務局から説明 ～～</p>
近藤委員長	<p>まちづくりの経緯につきまして、皆様から御意見・御質問等を伺いたいのですが、いかがでしょうか。</p> <p>まず、計画の目的が何なのかというところと、その目的がどれほど達成できているのかを計るために指標を選定してきましたという御説明がありました。</p> <p>この指標の根拠や設定に関しまして、又は数値目標に対しましても、</p>

	<p>何か御意見等はございますか。</p> <p>この計画によって、どのような成果・効果が出たかということにつきましては、後に説明していただきますので、その時に具体的な御意見を伺えたらと思います。現段階では、御意見・御質問はないということによろしいでしょうか。</p> <p>～～ ※意見等なし ～～</p> <p>それでは、続いて「(2) 事後評価手続き」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (前田課長補佐)	～～ 事務局から説明 ～～
近藤委員長	<p>ただ今、「事後評価手続き」につきまして事務局から御説明いただきました。先ほど申し上げましたとおり、この部分が評価委員会にとってメインになるところかと思っておりますので、事後評価手続きにつきまして、それが本当に適切であるのかという観点から御審議いただきたいと思っております。</p> <p>まず、ボリュームがありますので、いくつかに分けて皆様から御意見を頂きたいと思っております。特に、「方法書」と「事業成果の評価」、そして「事業の効果発現要因の評価」といったところの妥当性につきましても併せて御審議いただきたいと思っております。</p> <p>説明の中で、事業の評価としまして、目標達成度を「○」又は「△」という形で評価されておりました。また、その理由につきましても御説明いただいたところでございます。指標ごとに何が成功につながったのか、又は失敗につながったのかといったところの検証をしていただいて、事務局の所見として御説明いただいたところでございます。</p> <p>この所見につきまして、もっとこうしたほうが良いよという改善点や、この部分は不適切ではないかというようなところにつきまして、是非とも御意見を頂きたいと思っております。</p>
渡辺委員	19 ページの地域交流拠点施設の利用者数はどのように計測されたのでしょうか。
事務局 (前田課長補佐)	地域交流拠点施設の利用者数につきましては、施設の使用申請書に記載されております使用人数から算出しています。
渡辺委員	オープンしたのは、平成 30 年ですか。
事務局 (前田課長補佐)	平成 30 年です。
渡辺委員	評価値の数字には、商業施設（スーパー）の利用者は含まれていませんか。

事務局 (前田課長補佐)	含まれていません。
渡辺委員	ホールでのイベントを開催した時のお客様の数字や、各種教室・セミナーの参加者、図書館の利用者は含まれているのですか。
事務局 (前田課長補佐)	商業施設を除いて、都市再生整備計画事業を利用しましたホール・多目的スペース、小規模保育所、子育て支援センター、市立図書館の利用者数について、取得し、集計しております。
渡辺委員	これは方法の話になりますが、計画期間の終了直前に実施した事業はすぐに 100%の効果が発現できるかということ、そうではないところもあると思われま。評価をこのタイミングで実施するのは、制度として決まっているのですか。
事務局 (前田課長補佐)	原則として、事業終了年度となりますが、事業終了年度において事業効果が確認できないものについては、フォローアップという形で、翌年度、又は翌々年度に事業の成果を評価することは認められています。
渡辺委員	うだつの町並みでは、平成 30 年に 19 万人来られているということですが、その時点では町並みの整備は終わっていたのですか。
事務局 (前田課長補佐)	町並み整備につきましては、平成 30 年度に設計し、令和元年度から工事をはじめ、令和 2 年 10 月に完了しています。
渡辺委員	では、平成 30 年度に 19 万人が来ているというのは。
事務局 (前田課長補佐)	ミライズのオープンを含め、連動したイベントの開催などの相乗効果が現れているものと思われま。
渡辺委員	町並みの整備というより、ミライズが整備され、そこに人が流れてきたというほうが大事であり、この 2 つの指標を別々に評価するものではないと思います。そう考えると、前年の平成 29 年度は少なく、15 万人というのもあり得るのかなと思います。 また、町並みの来訪者数を計測する方法として、吉田家住宅の入込者数というデータ以外になかったのでしょうか。
事務局 (前田課長補佐)	第 2 期計画を含め、計画当初から吉田家住宅の入込者数に一定の係数を乗じたものを使用していました。また、担当課からも公表している数字は、この数字以外にない旨の説明を受けています。
渡辺委員	そうした中で、町並みの整備の効果を計測するのはすごく難しいことです。ほかに何か効果を表せるものや、統計をとることができるものがあるといいのではないかと思います。後付けの話にはなるのですが、今後に備えて検討してください。 24 ページで、ホームページへのアクセス数を集計し、検証されていますが、「どこからアクセスしているのか」について、データを分析してほしいと思います。例えば、SNS の投稿からきているとか、「うだつ」というキーワードからきているとか、何がきっかけでアクセスしてい

	<p>るのかという「1つ前の検索方法」の方が重要でわかりやすいと思います。データがなければ仕方ないです。</p> <p>最後に、うだつの町並みの目標値の反省点のことですが、感覚的に18万人くらいは訪れているように思います。平成20年度から平成22年度までについては、高速道路休日千円の効果で明らかに特異的な傾向を示しているならば、最初から外して一般的な値をとるべきだったのかと思います。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、御質問と御回答もいただきましたけれども、整備効果はなかなか発現するのに時間がかかるというところもございます。とはいえ、報告書には、その数値を効果として盛り込む必要があります。</p> <p>渡辺委員から御質問を頂きました数値目標の検証について、この方法が本当に妥当なのかというところと、これを報告書の中に盛り込むべきなのかというところに関しまして、皆様の御意見・御質問を頂きたいと思います。</p> <p>また、「○・△」で評価していただいておりますけれども、これにつきましても本当に「○」でいいのか、「△」でいいのか、又は「×」ではないのかというところも併せまして、御意見を頂きたいと思います。</p> <p>21ページに記載されていますが、平成28年度、平成29年度のうだつ町並みの来訪者数が減少しているのは、ミライズの整備期間中に当たり、工事に伴うアクセス道路の使い勝手や交通利便性の悪化の影響を受けたことにより減少しているものと思います。また、先ほどお話がありましたが、平成30年度になりますと、ミライズとの相乗効果が発揮され、著しく伸びているといったところです。</p> <p>あと、数値目標の検証・見直しについては、実際の来訪者数が減少傾向にある中で、計画直近の値を基本に「18万人」が適当であったのかもしれないというような御説明を頂きましたけれども、来訪者が下がるのは人口減少により仕方がないというところもありますが、インバウンド等で海外から観光で訪れる方が増えていますので、そのあたり状況をしっかりと掴んでいくということも必要かと思えます。</p> <p>近似曲線を描き、「18万人」という目標を設定する。この点についてもいかがでしょうか。「減少しない・させない」という視点で目標値を設定するという考え方もあるかと思えます。また、これらの内容を報告書にどの程度まで盛り込むのかということにつきましても、御意見ございませんでしょうか。</p>
渡辺委員	<p>あくまで目標という位置付けであることは変わりありません。もちろん、クリアできてないと「何で？」と理由は問われますが。トレンド予測すれば、将来、観光客が右肩下がりのカーブを描くことは予測できるかと思えます。では、来訪者が減るのであれば、「ここで止める」</p>

	<p>という目標もあり得えます。そのため「平均から何割以内に抑える」とか、「ここで絶対止める」という目標として「18万人」にしましたというものであれば良いのではないかと思います。</p> <p>そして、それを補完するような材料として、22ページに記載されているような起業されている方とか、民間の方とか、そういった効果を示していただければと思いますし、そのことが重要かと思います。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかに、5つの「その他の指標」に関しまして、皆様から御意見・御質問等を頂けたらと思います。</p>
西前委員	<p>先ほど、18万人に目標を下げるという話がありましたが、今年度まで事業をしていたのであれば、これから整備されたところを利用して、観光客を集めていくが観光だと思う。今、目の前の結果にこだわるより、来年度はオリンピックがあります。2025年には万博がある。必ずインバウンドがあり、必ず交流人口が増える。常に上がった、下がったするのが観光客数ではないかなと思います。ですから、事務局としても、それほどこだわらなくてもいいかなと思います。</p> <p>もう1点は、もし分かるようであれば教えてほしいのですが、ミライズの利用率についてです。19万人の利用者という数はわかるのですが、それぞれのハコ・空の利用率がどうなっているのかという分析を踏まえた指標があった方がよろしいかと思います。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、2点について、御意見・御質問を頂きました。まず1点目は、観光に対して、事業の効果が発現してくるのはこれからであり、直近で計ることは難しいため、必要以上にこだわらなくてもいいのではという御意見であったかともいます。</p> <p>もう1点は、ミライズのどのハコがどれくらい利用されているか、稼働しているのかという利用率についての御質問であったと思いますが、事務局の方で把握されていますでしょうか。</p>
事務局 (前田課長補佐)	<p>ミライズの利用率につきましては、利用者数を把握する際に所管部局において把握されていたと思いますので、確認いたします。</p> <p>なお、公表の可否等につきましても併せて確認させていただき、次回の評価委員会において御回答させていただければと思います。</p> <p>お時間を頂くこととなりますが、よろしくお願ひします。</p>
近藤委員長	<p>本当に必要なことと思います。</p> <p>利用率が低いところは、改善するための方策を考える必要があるでしょうから、そうした検証機会にもつながると思いますので、貴重な御意見を頂いたと思います。</p>
土井池委員	<p>ミライズの利用に関して、その使用料が大きなネックになっているということをよく耳にします。他市や他施設との比較により現在の使</p>



	<p>用料になっていると聞いています。使用料を下げれば、当然ながら、今以上に利用者は増えてきます。そのため、市としては使用料を低くするとか、その一部を還元するとかという点について、どう考えていくかが問題になるかと思います。</p> <p>もう1点は、数値目標の妥当性について、県からの助言によって、検証し、見直しを検討したというような話がありましたけれど、方法とはして良いと思います。</p> <p>しかしながら、現在の数値目標についても、時代の流れによって、最近はコロナ渦で減少していますが、コロナが終息しますと、増えてくる可能性が十分に考えられ、そうしたら達成度が100%くらいになる可能性もあるわけです。そういう考え方もありますので、より良い方法について、再考してほしいと思います。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>大きく分けて2点の御意見を頂きました。</p> <p>まず1点目は、今後のまちづくりに対しまして、ミライズの使用料をどの水準に設定するか、まちづくりの位置付けとして、どこまで市として補助し、又は助成していくか、というところであったかと思えます。こちらにつきましては、本評価委員会の審議から少し離れたものとなりますので、別の機会に御検討を頂ければと思います。</p> <p>2点目は、うだつの町並みの来訪者数に関する数値目標の検証の方法や考え方につきまして、再考の必要があるのではないかなという御意見でしたけれども、事務局から回答いただけますか。</p>
事務局 (前田課長補佐)	<p>うだつの町並みの来訪者数についてですが、来訪者数が目標値から大きく乖離していることは事実として受け止めざるを得ないと考えています。そうした中、県の担当者から計画当初の数値目標の妥当性について検証してみることも1つの方法と、助言を頂きまして、数値目標の設定に係る検証プロセスが果たして妥当だったのか、それとも不適切であったのかについて、今回、検証したところでございます。</p> <p>先ほど御説明させていただきました数字は、こうした経過を踏まえて算出したものとなります。</p> <p>事務局としましては、今回の事後評価では、数値目標には及ばなかったものの、その他の指標として示しておりますような予期しない効果が生まれていることや、先ほど西前委員がおっしゃられておりましたように、今後ますます事業効果が発揮され、数値目標の達成につながるようなまちの変化を生み出すことができましたということを表現できればと考えております。</p> <p>土井池委員がおっしゃられていましたが、検証方法はたくさんあると思います。事務局としましてもどの方法が適切なのかはもとより、どういう方法があるのかについて、十分な把握ができていないのが実</p>

	<p>情です。したがいまして、委員の皆様方から御指摘、御教示いただけますと幸いに存じます。</p>
<p>蔭山委員</p>	<p>先ほど、うだつの町並みの来訪者数は、吉田家住宅を訪れた入込者数に係数を乗じて算出しているということでしたが、その方法は非常に曖昧であると思います。</p> <p>平成7年あるいは8年であったかと思いますが、高速道路が脇町まで完成した時に、うだつの町並みの来訪者数がすごい勢いで増えたことがあります。当時の町長は、あと2,3年で30万人、5年もすれば50万人になると話されておりました。しかし、実際は、昔も、今もそのあまり変わっていません。増えたり、減ったりしながら、その都度何らかのイベントにより大きく跳ね上がる時もありますが、変わっていません。だから、ミライズができて、来訪者が増えたのは、相乗効果によるものだと思います。</p> <p>平均しても、毎年17万から18万人は訪れていると思います。こうした事業をして町並み景観が綺麗になれば、先ほどの西前委員おっしゃられていましたが、目先の結果に捉われるのではなく、将来的な展望、期待を含めて「これくらいの人に来てくれればいいなあ」という希望数値であっても問題ないと思います。そういう意味では、数値目標はもう少し高めでもいいと思います。</p> <p>それと事業の効果を判断するために、新しくその他の指標を設定され、その検証を試みておられることについては、非常に良いと思います。そこで、もう1つ、私の立場から言わせていただきますと、地域の小規模事業者がだんだんと減っています。</p> <p>今回の事業は、まちの賑わい、活気を再生するものとのことでしたが、全体的な減少割合から見れば、町並みは持ちこたえている、又は新規創業者が増えていますということで、事業の効果として、整理してみてもどうかと思います。</p>
<p>近藤委員長</p>	<p>まず、実際の来訪者数を反映しているデータとは言えないという御指摘であったように思います。計画当初の段階でこの数値を基準として計測されていますので、報告書においても同様の方法により計測せざるを得ないものと思います。ただし、データの取得・集計方法については、これまでの委員皆様からの御意見等を踏まえて、今後必要な検証をしていただければと思います。</p> <p>2点目のその他の指標につきましては、もう1つ指標を増やせるのではないかと御提案を頂いております。小規模事業者の推移を他の地域と比較して、その下げ率が低いとか、地域の創業者数が多いのではというようなところからの検証であるかと思いますが、次回までに事務局において分析していただけたらと思いますが、事務局の御意見はいかがでしょうか。</p>

<p>事務局 (前田課長補佐)</p>	<p>市内の事業者の変動や推移などについて、その情報を所管している部局を確認し、資料提供等を求めたいと思います。その上で、御提示できる資料がございましたら、次回の評価委員会において御提案させていただきます。</p>
<p>近藤委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>いろいろと御意見を頂いております。</p> <p>あと、片岡委員から事前にいただいている御意見の中にも吉田家住宅だけで統計をとることについて問題提起がなされていますので、こういうところも反映していただければと思います。</p> <p>また、その他の指標の設定につきましては、HPのアクセス数について御意見を頂いておりますので、次回までに御検討を頂きまして、評価委員会に諮っていただければと思います。これについては、今後計画を練るときや、何らか施策を講じる際に重要な参考資料になると思いますので、しっかりと今後に活かしていただきたいと思います。</p> <p>それでは、まとめさせていただきますが、目標達成度の「○・△」の評価につきましては、皆様よろしいでしょうか。</p> <p>～～ ※異議等なし ～～</p> <p>よろしいですかね。</p> <p>多くの委員の皆様から、うだつの町並みの来訪者数の統計データにつきまして、信頼性に欠くとの御指摘がなされていますので、データの取得方法をはじめ、住民の皆様にわかりやすく、納得できるような、そして、現状を正しく反映できるようなデータの精度につきましても工夫していただけたらと思います。</p> <p>あと1点、皆様にお諮りしたいのですが、うだつの町並みの来訪者数について、その数値目標を決定した際のプロセスを再検証した結果に当たるところは、報告書に盛り込むべきでしょうか。それとも我々の理解を深めるのに役立ったというところで留めておいて、報告書には記載しないでおくべきでしょうか。先ほど、渡辺委員から御意見がございましたけれども、どうして「18万人」が適切であると、目標を見直すに至ったかという点や、将来予測が「16万1千人」となるところを「18万人」にまで下げ幅を抑制するという点について詳しく記載するのか、それともこれらのことは記載せずに、あくまでも現状を踏まえて、その他の指標の成果を踏まえながら事業効果を説明していくのか、いかがでしょうか。</p> <p>その他の指標につきましては、先ほどからプラスの御意見を頂いていると思いますので、これらについては報告書に記載することとして差し支えないと思います。</p>

渡辺委員	<p>結果が出た後に目標を変えるというのは、あまりよくはないと思います。本来であれば、18万人くらいが妥当かなという点は、納得できますが、当初の目標値である23万人に対して、そこに届かなかった理由として「目標が高すぎた」ということ、でもその代わりに事業者が増えたなど、近年の傾向から比べれば改善が図れているという説明を付け加えれば、問題ないと思います。</p> <p>従前値の10分の1とか、100分の1とかになっているわけではないですし、毎年、15万から16万人が訪れているので、それはそれでかなりの成果だと思います。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>まず、目標を設定する段階のところを覆すと何のための計画だったのかというような疑念を生ずることにつながると思いますので、渡辺委員から御提案を頂きましたように、報告書には数値目標は〇人が適切であったというような記載は省いていただくということが評価委員会としても妥当であると思います。</p>
土井池委員	<p>国や県から、今回目標を達成していないことについて、どうしてそのような結果となったのか、数値目標の設定が甘かったという資料の提出が求められることはあったのでしょうか。</p> <p>もし、そうしたことがあるのであれば、ちょっと慎重に考える必要があるかと思います。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>県から事務局側に「この資料を出しなさい」という指示があったのでしょうか。それとも、「こうしてみたらどうですか」というようなニュアンスのものなのでしょうか。</p>
事務局 (前田課長補佐)	<p>県とのやり取りにつきましては、評価の結果、「指標2」については数値目標を達成できないことを御報告させていただきました。</p> <p>また、その要因として、当初の指標設定の時に検証が不十分であったことが影響しているように思いますとお伝えしました。</p> <p>加えて、それに代わるその他の指標を追加し、検証することをもって、事業効果は改善傾向にあるということは説明できると考えていますとお伝えしています。</p> <p>以上の2点について説明させていただいたところ、当初の計画の目標設定が妥当だったかどうかの検証はしておいてくださいという助言をいただいたということになります。</p> <p>したがって、事務局としましては、目標達成度としましては、数値目標には及ばないものの、事業効果は確認できていますという整理をした上で、特記事項として、数値目標設定の際に特異的な性質について十分検証することができておらず、「過大」な目標値を設定していたことについて記載できればと考えております。</p>

<p>近藤委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>御説明を頂きましたように、添付様式 2-①の特記事項の欄において、目標の設定が甘かった理由が記載されており、実際の目標達成度「△」の理由につきましては、その他の指標 5 つを踏まえまして、現状として十分に効果が出ていますというようなまとめをされています。このことについては、改めまして整理していただきたいと思いません。</p> <p>あともう 1 点、その他の指標では、先ほど御意見を頂きましたように 6 つ目の指標としまして「小規模事業者の推移」について、次回の評価委員会の会議までに御検討いただけたらと思います。</p> <p>それでは、事務局からの御説明のありました「事後評価手続き」につきましては、計画当初の検証が甘かったところも含めまして、詳細に検証されていること、加えて、「○」と「△」という事業成果の検証の結果につきましても、「妥当である」と、「適切である」と、評価委員会として判断させていただきます。</p> <p>たくさんの御意見を頂きましたので、こうした御意見等については、今後のまちづくりにおいて、又は、報告書をもう少し煮詰めていく際の資料として、適切に反映し、活かしていただけるようお願いしたいと思います。</p> <p>こういった方向でよろしいでしょうか。</p> <p>～～ ※異議等なし ～～</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>そうしましたら、次に事後評価手続きに関する妥当性につきまして皆様に確認させていただきたいと思いますが、この事後評価手続きの妥当性というのは「特に問題がない」、「適正に行われている」と判断させていただいてよろしいでしょうか。それとも何か御意見・御提案等がございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>～～ ※異議等なし ～～</p> <p>よろしいでしょうか。それでは、事後評価は「適正に行われていて、問題がない」と、評価委員会として判断をさせていただきます。</p> <p>そうしましたら、続いて、「(3) 今後のまちづくり」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (前田課長補佐)</p>	<p>～～ 事務局から説明 ～～</p>

近藤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今、御説明がありました、「今後のまちづくり」につきまして、先ほどの「事業の評価」、「効果発現要因」というところも踏まえまして皆様から御意見を頂きたいと思います。</p> <p>事業効果が出ているところはこれからも効果を持続していく、又は皆様に一層活用していただくというところについて、一方、なかなか効果が出ていないところは、今後どのような取り組みをしていけばいいのかというところにつきまして、皆様から御提案・御意見等を頂けたらと思います。</p>
土井池委員	<p>基本的な考え方の中で、「広域観光の推進」とあります。先般の徳島新聞や、2月の議会だよりも出ておりましたが、国道193号の整備や高規格道路の改良などを通じて、高松市との連携が今検討されているとのことですが、そういう交通ネットワークの整備も前向きに検討すべきではないかと思っております。</p> <p>三好市池田町では、猪ノ鼻峠にトンネルが整備されまして、香川県との交流が非常に早くなった、また、安全で、便利になったと言われています。そういうネットワークの推進が必要でないかと思っております。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>観光はもちろん、観光以外もそうですが、人が移動する際には、道路の交通ネットワーク、利便性といったところがかなり大きな影響を与えるかと思えます。</p> <p>事務局としましては、他県や他市町村との連携につきまして、ソフトの施策も含めまして、何か動きや考え等がありましたらお願いしたいと思えます。</p>
事務局 (大森課長)	<p>今現在、脇町地区につきましては、近隣の高松市と高規格道路の整備促進につきまして、協力しながら国や県に対する要望活動を行っていくこととしております。そういった中で、何か観光につながるようなアクセス道路等の整備について検討してまいりたいと思えます。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
上谷さん	<p>美馬観光ビューローの上谷です。</p> <p>私は、委員の立場ではありませんが、観光ビューローで観光施策に携わっている者として、現在の観光を取り巻く状況について説明させていただきたいと思えます。</p> <p>高松市と高松空港を拠点に四国に行く観光ルートを開発しようということで、去年、高松市と観光協会、そして香川県と話を進めてまいりました。ところが、コロナ渦の影響で、現在は止まっています。</p> <p>また、観光客の誘客についてですが、2年前に観光ビューローを立</p>

	<p>ち上げましてからは、積極的にプロモーション活動を行っているところでありますが、こちらについても同様にコロナ渦の影響で、現在見合わせているところです。</p> <p>国に報告するのは、数字が一番だと思いますが、実際、地域住民の方をはじめ、観光客の方からも「道路が綺麗になってよかった」などの声を聞いています。ただ、それを数字で表せと言われると難しいですが、皆さんお礼を言っておられました。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局には、心強い助けがあったと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>コロナの影響により、先が読めないような社会ではありますけれども、いろいろなところで取り組みをいただいていることと思います。改めまして感謝申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>それ以外に、今後のまちづくりについて、何か御提案・御意見はございませんでしょうか。</p>
渡辺委員	<p>交通ネットワークについては、私自身、車に乗らない人間なので、いつもすごく不便だなと思っています。先週の土曜日に脇町と吉野川に行ってきたのですが、JRで穴吹駅まで来て、市営バスを利用しました。その時、駐車場を見ますと、かなりの方が車で来られていて、駐車場に車を置いて、それからいろいろと見学して帰られるという、どちらかという通りすがりというか、途中で寄られる方が多いのかなと思いました。</p> <p>例えば、インバウンドとか、県外の方とか、そういった外部の方を呼び込むのであれば、もっとJRとの連結とか、あと空港からそのままバスで来られますとかというように、町並みと交通拠点をどうやって結ぶかということについて、充実させることができれば、もっと地域に人が訪れやすくなるのではないかと思います。</p> <p>また、市内の美馬町にあります郡里廃寺などとも連携してもらえれば、市内の観光スポットにアクセスしやすいのかなと思います。</p> <p>あと、歴史的町並みを観光拠点として位置付けられていますが、私の周り人の話を聞いてみますと、1回は行ったことはあるけど、2回、3回というヘビーユーザーはいないという点が気になるところです。</p> <p>これは、どこの観光地にも当てはまることだと思いますが、地元の方にいかに使っていただくかという視点もこれからは必要なのではないかと思います。ミライズは、地域の方が多く使われているようですが、町並みの方にも何か公共施設の一部を入れるとか、学生が勉強できるようなところを入れるとか、そういった箱というか、空間を地元の方も含めて、みんなに普段から使ってもらえることができると、コンパクトシティの1つの大きな拠点になるのではないかと思います。</p>

	<p>あと、外国の方とお話する機会があるのですが、徳島の観光情報は英語表記が少ないねと言われます。また、SNSでは、実際に外国から来られた方が「ここが良かったよ」という動画などを自分で作り、紹介しているのをよく見かけます。つまり、こちらの方からも海外の人にむけて英語のコンテンツを配信するとか、綺麗になった建物や景観などを世界中に向けて発信していくことも大事ではないかと思います。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>たくさんアイデアや御意見、御提案等を頂きました。</p> <p>せっかく綺麗になったのだから、その資源を活用していく方法を検討していかないといけないというところと、交通利便性の向上をもうちょっとしっかりと考えていきたいと思いますというところについても御意見を頂きました。</p> <p>あとは、情報発信をしていくことや、ユニバーサルデザインといったところも考慮して今後のまちづくりをしていただきたいという御意見であったかと思います。交通利便性は、何かバスを走らせるとか、デマンドの何かを導入するとかといった手法のみに終わることなく、そうした情報について、タイムリーに、誰に対してもわかりやすく発信していかなければならないと思います。ただ整備するだけではだめで、プラスして情報発信を行っていく必要があるのかなというふうに思います。</p> <p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
西前委員	<p>うだつの町並みは、仕事の関係で何度か行ったことがあります。個人の家に入らせていただいたこともあります。中には、すごい家があります。入ったら本当にびっくりします。</p> <p>しかし、そういったところも、お住まいになる方が居なくなって、空き家になっているところがあります。そういうのを活用して、宿泊していただくような仕掛けも必要だと思います。昔、国際交流員の方を宿泊させていただいたときに、「素晴らしい」と感動して帰ってくれました。そういう感動を、一般の方にも体験していただく機会ができれば、観光消費の拡大にもつながります。</p> <p>「量よりも質」を考えた観光も必要ではないかと思います。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>貴重な御意見を頂きました。</p> <p>徳島県自体が、宿泊者数がかなり少ないことから、「弱み」と言われているところだと思います。</p> <p>実際、住んでいますと、まちの魅力に気付きにくいというところがあります。そういう魅力を再発見し、再認証していただいた上で、空き家を活用していただきたいという御意見だったと思います。</p> <p>あとは、来訪者数を増やすというだけでなく、しっかりお金を落と</p>



	<p>していってもらわないと経済効果がありませんので、そのあたりの仕組み、何かしらの工夫を検討していただいて、まちづくりを進めていただきたいというお話だったと思います。</p> <p>ほかに、ございませんでしょうか。</p> <p>よろしいですかね。</p> <p>～～ ※意見等なし ～～</p> <p>そうしましたら、たくさん貴重な御意見を頂きました。</p> <p>これらの御意見につきましては、美馬市に対する意見の具申として整理させていただきたいと思いますので、事務局には、ぜひ適切な対応をお願いしたいと思います。</p> <p>今後のまちづくりに関しまして、確認させていただきますが、評価委員会として、今後のまちづくり方策の妥当性について「問題がない」、「適正に検討されている」と判断してよろしいでしょうか。</p> <p>～～ ※異議等なし ～～</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>御意見はないようですので、今後のまちづくり方策が適正に検討されていると確認をさせていただきました。</p> <p>そうしましたら、最後に議題3の「今後のスケジュール」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (前田課長補佐)</p>	<p>～～ 事務局から説明 ～～</p> <p>なお、最終的に取りまとめました事後評価結果につきまして、今後の国や県の確認を受ける中で、その内容に変更等を生じた場合につきましては、委員を代表しまして近藤委員長と渡辺委員に本評価委員会の権限を委任させていただき、審議をお願いしたいと思いますので、委員の皆様におかれましては、御承諾くださるようお願い申し上げます。</p> <p>～～ ※異議等なし ～～</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>近藤委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>今の対応に対しましては、異議なしという御意見をすでにいただきましたけれども、事務局の提案のとおりでよろしいでしょうか。</p>

	<p>～～ ※異議等なし ～～</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、本日予定しておりましたすべての議題が終了しました。</p> <p>事務局におきましては、今回の評価委員会の中で出されました意見につきまして評価原案を再検証していただきたいと思います。再検証していただきまして、まとめて頂いたものを次回の評価委員会でお示しいただき、その内容について御説明いただきたいというふうに思います。</p> <p>かなり長時間の御審議となりましたけれども、進行に御協力を頂きまして誠にありがとうございました。</p> <p>それでは司会を事務局にお返ししたいと思います。</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【6. 閉会】

<p>事務局 (大森課長)</p>	<p>近藤委員長をはじめ、委員の皆様方におかれましては、長時間にわたり、御審議を頂きまして誠にありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、本日の議事日程はすべて終了いたしました。</p> <p>これをもちまして、都市再生整備計画評価委員会を閉会させていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
-----------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------